

炉定数専門部会幹事会議事録

日 時 1976年4月28日(水) 9:30~12:00

場 所 原研本部第31会議室

出席者 桂木, 宮坂, 小山, 田次, 菊池, 長谷川(原研) 金森(三井造船), 大竹
(PNC)

議 題

1 昨年度経過と今年度の作業予定

◎ Fast FP W.G. (菊池)

- 1975 · JNDCの28核種の改訂版を処理し炉定数化した。
- ENDF/B-4の炉定数化を行なった。
- RCNの実験結果よりベンチマークテストを行なった。
- 今後の便を考えシステム化し, JNDC FP Fast Reactor Constants Systemとした。
- 1976 · 次に重要な58核種を評価が済み次第炉定数化する。
- 大型炉への影響を調べる。

◎ 遮蔽定数W.G. (宮坂, 小山)

- 1975 · 発足に至るAd Hoc委員会の事情説明
- 1976 · データのfile化
 - 中性子群定数はENDF/B-4を処理し, JAERI-Fastの拡張形にする。
 - 2次 γ 線のデータを収集, 整理し, 最終的な値を年度内に決定する。
 - Fileから群定数への処理コード開発
 - 7月までに仕様を決め, FACOMに発注し年内に一部完成を目標とする。
- 1977 · Production

◎ JENDL-1積分評価W.G. (菊池)

- 1975 · 発足に至るAd Hoc委員会の事情説明

- 1976
- ・ JENDL-1 に基く炉定数作成
 - ・ 重核の self-shielding factor は MAPI の ETOX
 - ・ その他の核は原研で PROF-GROUCH-G-II
 - ・ 6 月末完成を目途す
 - ・ 積分テスト
 - ・ 国際ベンチマーク炉心 + FCA で行なり
 - ・ Doppler, Pu 同位体比実験, Snell 型実験も解析する。
 - ・ 9 月末に一応の結論を出す

2 予 算

JENDL	積分テスト	W. G.	500万程度
	内 訳	ETOX 処理	300万
		集中作業の man power	~200万
遮蔽定数	W. G.		50万
	内 訳	処理コード発注	